

今月の表紙  
field: 間瀬湖 西湖 芦ノ湖  
河口湖 田瀬湖 松原湖  
photo & layout: 本誌・里

## 特集 石井忠相 新緑の間瀬湖でついに公開! 深宙両ダンゴ爆釣理論!!

# 「新時代のボンエサ使い」

14

2	イントロ 岡田 清 in 芦ノ湖オカッパリ!
23	石井旭舟 へらぶな浪漫街道 《第五十四回》青森県・津軽富士見湖～岩手県・田瀬湖
30	小池忠教 激釣の急所 《第六回》ザ・例会 浅草へら鮒会/西湖・精進湖 Y-21 CLUB/野田幸手園
37	田辺哲男 MYへら道 《へら道その六》ヤマの地べらと闘いたい! 西湖&河口湖
42	斉藤心也 炎のチョーチン12番対決!! 《第7戦》vs小柳康秀in野田幸手園
51	第1回オーナーカップへら金勝杯 羽生吉沼
54	第11回椎の木湖杯
58	対談 ガマ素材(弘月作)を語る。 岡田 浩×野老山 誠
61,66	★AREA REPORT 戸面原ダム(千葉県) 本誌・伊藤洋一
62,68	赤祖父湖(富山県) 山本一朗
63,69	明德池(愛知県) 後藤 誠
64,70,71	トム・ソーヤ(滋賀県)・本庄池(福岡県) 前田誠志、河口正伸
134	竹とともに生きる。 《第44回》匠工房
137	杉山達也のSUPER SPLASH! 《ROUND.18》新エサを使いこなせ。爆釣両ダンゴ!! 鬼東沼

143	中澤 岳 フィールド真っ向勝負 《Vol.18》大荒れ、激動の西湖!
148	戸張 誠 関べら戦記2007 《第四回》5月例会 富士4湖“新緑”
152	稲毛利夫 崖っぷち釣行! 《第6回》師匠、危うし…江戸川・関宿水門下流のワンド
156	吉川ひとみのあっちこっちそっち♡ 激闘編 《Vol.4》ひとピー、浅ダナ両ダンゴで大激釣!? 厚木HC
160	第3回富里乃堰へら鮒つり大会
193	棚網 久の我流 《第十六回》会津べらを求めて!! 松原湖
201	ダン創業60周年記念 ペアへら鮒釣り大会 椎の木湖
202	北川穂積 西の交友録 《第十九回》ゲスト:久保一美 釣り場:安室ダム(兵庫県)
205	釣り味 《第7回》ラーメン・中華料理「空海」の【塩ネギチャーシュー麺】
206	釣果予想クイズ
208	フィッシングレディ 《今月のレディ》福田仁美さん 谷養魚場へら池

### 釣り場割引 クーポン券

p.163~

野田幸手園 椎の木湖  
清遊湖 谷和原大沼  
上尾園 F.A吉羽園  
谷養魚場 将監  
柳生 F.P 筑波白水湖  
泉堰 逆井HC  
友部湯崎湖 三和新池  
狭山HC 川越FC  
芦田湖水光園  
鳥羽井沼 大上へら池  
霧の沼 小川つり堀園  
清川つくしFC  
千代田湖・舟宿 千和  
相模湖・釣舟 五宝亭  
相模湖・釣舟 天狗岩  
吉森HC  
甲南へらの池 当麻池  
水藻FC 朝日池  
釣り堀八十八  
精進湖・釣舟 金風荘  
西湖・釣舟 白根  
西湖・釣舟 丸美  
西湖・釣舟 青木ヶ原  
府中HC

76	へら鮒釣り 超基本講座 《第29回》【チョーチン両ダンゴ編】後編
83	ガチンコ道場 《第19回》ガチンコメンバー大善戦!?
91	都祭義晃 カリスマ伝説2007 《Vol.19》～第3回富里乃堰へら鮒つり大会～
99	江成公隆のトーナメント、復活への道。 《Vol.61》「一志」
106	夢追釣人(ゆめおろもの) 天野正由 今月の夢・意地でも見たい諏訪湖べら 諏訪湖・蓼科湖・相模川/海老名・猿ヶ島
110	水辺のプラネタリウム 吉本亜土 《今月の星空》「エフ」
114	最狂へら戦士養成所“鮒の穴” 漢タカハシ 《第五十三話》プロト様の悪巧み! 秘密兵器、キラピープロテクション「守君2号」登場!!
119	へら鮒を三枚に下ろす 西田美明 《第7回》「バラケエサ②…大バラケ」

122	釣れてまっか〜? 釣らせてくださいっ! 南元彦 《最終回》サヨナラでっせ〜!
124	水と戯れ、風と遊ぶ ホワイト 《第7回》「上達の秘訣」
126	野田幸手園新聞
161	ワクワク管理釣り場情報
170	小売店情報
175	★へら鮒BOX 里ちゃんの新米編集長雑誌 情報発信基地 ボイス コラム「日研だより」 日研広報部長・遠藤克己 コラム「上村流!」 上村恭生 コラム「紀州”想いの竹”のものがたり」 中塚伸行 プレゼント発表 広告索引 編集後記

### STAFF

●発行人  
根本百合子

●編集長  
田中里史

●編集部  
大場勝良  
諸富一秋  
伊藤小百合  
伊藤洋一

●へら鮒NET  
根本大作  
高田 準

●企画  
〈オフィス・えび〉  
藤原 肇

岡田 清「Deep Side Angle」は誌面の都合によりお休みさせていただきます。

この物語は、  
栄光、そして挫折を味わい、  
今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

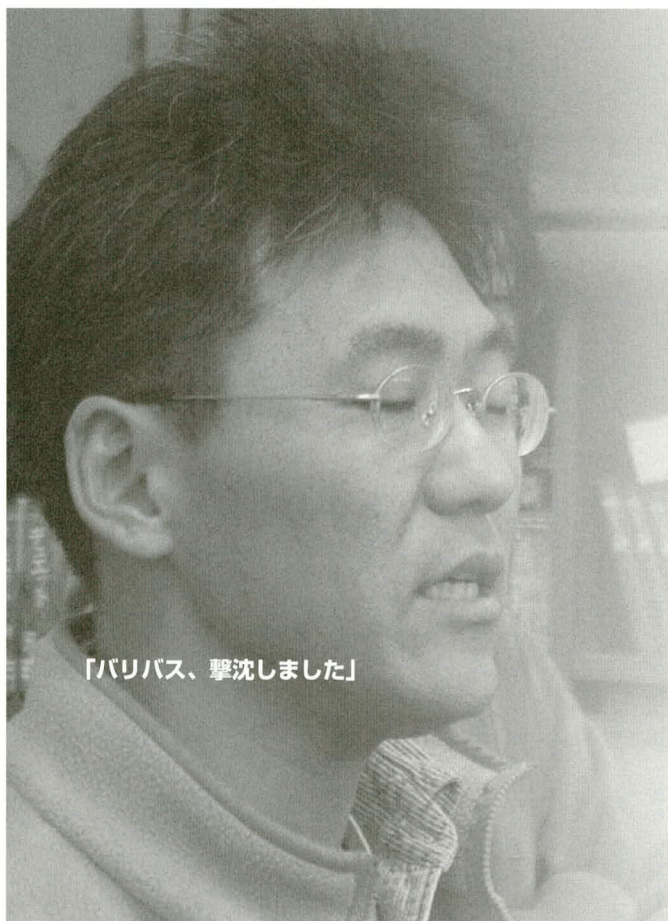
# 江成公隆の トーナメント、 復活への道。

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka  
業界初、Web運動企画！→いよいよ再発進！ (URL) <http://hesar.yokohamatsurumi.net>

## 「一歩進んで二歩下がる!?!」

〈Vol.61〉

# 「一志」



「バリバス、撃沈しました」

来月号は「祝・全国大会出場最終回スペシャル」でネ！

……なーんで先月号で書いてしまったが、やっちゃいました。アニキ、「今回はいけそうよ」と自信満々で挑んだバリバス・グランカップ関東予選で、見事に一回戦で撃沈！やっぱりそう簡単に事は運ばないか…。でも大丈夫。アニキは元気です！

だって、「一つの道を志す」者だから…。

by里ちん

結論から言うと、やはり奇跡は起きなかった。「月イチで全国大会出場を目指す」という壮大なテーマに挑戦する上で、奇跡を期待するってのもどうなのって感じだけれども、間違いも起きなかった。

連載開始以来、一度も予選の二回戦に進めていない僕。昨年のバリバスはグラム差で二回戦進出を阻まれたと書いたが、今回もグラム差だった。これを「惜しい」となぐさめていただくのは本当に何と申し上げていいかわからない位にありがたいことなのだが、冷静に考えれば一回戦からギリギリで通過したところで、二回戦の結果は見えているのだ。

是非は別として、作戦上「二回戦目は抜く」という手はアリだろう。一回戦をブッチギリ通過したところで、二回戦でコケたら何の価値もないから、余裕がありそうなら二回戦への探りを入れるという意味だ。しかし、過去に自分が通過した予選を振り返ると、一回戦終了後、ドキドキしながら検量を待った記憶はない。途中から抜いた一回戦というのも一度だけ記憶があるが、それでも棧橋トップ通過であった。生気だが、それくらいの自信で臨み、また、当然のようにサクッと結果を残せてこそ、全国への扉は開かれるのかもしれない。さらにもっと言えば、以前書いたようにメジャー全国常連者には、「全国に行けて嬉しい」などという気持ちは全くない。面白い話を書こう。ミスターシモノ萩野氏（一志作者、以下萩ちゃん♡）は、常に完全優勝を狙っているというのだ。ここ十年間ほどのジャパンカップではシード権をロストした年がほとんどない萩ちゃんにとっては、当然ながら全国大会での話。もちろんジャパンカップ

番外(論外!?)

以外のトーナメントにおいては、地区予選から参加するトーナメントもあるわけで、そうなるべくと最後まで何連勝することになるのか…。勝負は時の運にも左右される。全てが噛み合せて成し遂げる事が可能な完全優勝。それを承知の上で、あえて目標に掲げられる自信。まったくもって恐れ入る。

「当然オレは通過する」。自信と熱い闘志とを漲らせた百戦錬磨のトーナメントでさえも、二回戦では厳しいフルイにかけられる。岡田君も天笠氏も、秋ちゃんも散った。「弘法にも筆の誤り」はある。が、「間違っつて勝つ」というのは「自然が相手だから何が起ころるか分からない」「他のスポーツよりは可能性はある」とはいえ、まずあり得ないのである。

と、お先真っ暗な話はこのくらいにして、前向きに方向転換してみるのが僕だ。そうでなければ、毎月こんなにも恥をさらしまくれない。パリバスでの最大の失敗は、下パリが小さ過ぎたことだ。つまり、へらはたくさんいたにもかかわらず、料理しきれなかったということ。アタリが少なかつた。「アタリが出せなかつた」と途方にくれていた昨年までのトーナメントに比べれば、格段の進歩である。へらを寄せ、タナを作り、アタリを出させる。ここまでは出来ていた。らしい言葉で言い換えれば、「地合」になりかけていたのだ（…「場所が良かったから、最初からそういう条件だったんじゃないの？」って言うのはナシね。あくまでも前向きですから）。

「アタリは重い」という先入観から、「クワセの重さが足りていないのでは」という疑問に正面から向き合えなかつた。お約束のハリスを詰める方向へ行ってしまったのである。自分でさんざん書いてきたように、現在のセットにおいてハリスを詰める行為は、必ずしも間違ではないものの、かなりリスクである。

## 平辞死。

パリバスでは全国行きの切符こそ手に入れたことは叶わなかつたが二回戦進出を果たし、確実に進歩を続けるガチンコ平山氏の最近の発言には鋭いものがある。集中力をMAXにまで高めて対応しないと、一発では頭に入らない。そんな氏から、パリバスの予選が終わって数日後に電話がかかってきた。

「パリバスはお疲れ様でした。あれからずっと悔しくて練習してるんだけど、今さらながら気付いたことがあるんで報告するね。エサ付けて人によって千差万別で、凄くバククルのが難しい部分だと思っただけで、「上がりは庄」「ナジミはチモト」っていう切り分けはどうかな？ 凄く分かりやすい指標だと思わない？」

そんなことみんな知ってるよ、と感ずる方もいるかもしれない。10年も前の「へら〇〇」の特集に書いてあったよ、という人もいるかもしれない。しかしこれを聞いた僕は、平山氏の成長を確信した。というのも氏は、釣りをするにはとても恵まれた環境下にある。有名な知り合いも数知れず、いくらでも盗むチャンスはあるが、今まではそれが災いしてきたように感じる。理論第一主義を標榜するナリーズだが、ものごとを習得するうえで、カタチから入るのは間違ではない。間違ではないというより、誰だつてとっかかりはそれしかないだろう。しかし、複数の先生を理解ナシにカタチだけ真似るのは大変である。これは、いわゆる「普通の」情報過多というとは違う。さばき切れないのではなく、コピーし切れない、のだ。どんなにレベルの低いお手本であったとしても、反復の中でこそ、考えさせられ、気づかされるのが「学習」

だとすれば、先生はピンでなければならぬ。完全にコピーしているつもりでも生じる差異に、また新たなテーマを見いだせるのも、先生がピンならではだと思つた。

千差万別のエサ付けに、さっそく生じる矛盾。「ああ見えて」クソ真面目な平山氏は、先生を疑うことを知らない。たったいま書いたように、先生が複数いたことが、センス溢れる氏を遠回りさせた最大の原因であると僕は思うが、それが貪欲に知識を吸収したい氏の情熱だつたわけで、浮気性というわけではなかつた筈である。氏はいま、ようやく長いトンネルを抜け、「自分らしいスタイル」を確立しつつある。今後は新たな先生が何人現れても平気だ。なぜなら、今後は常に「自分」との比較という視点で学べるからである。丸暗記で振り回される心配はもうない。

古くから知られていることであつたとしても、もがき苦しんで編み出した貴重な公式群。今まで丸暗記だつた事象が全て、おもしろいように「平山語」になっていく真つ最中である。



平山氏の「熟さ」こそ、今、業界に最も欠けているものではないだろうか…

## ヒワリろく。

セットのバラケに大きなうねりが起きてくる。

「粒」しかり「パワー系」しかり、ここ数年の流行はダイワ勢が仕掛けたもので、「ふまつげん」なきあと、マルキユー陣営独占のように映っていたエサ業界に風穴を開けた功績は大きい。

いや、実際にふまつげんが健在だつた頃、二大メーカーと呼べるほどにマルキユーとふまつげんが市場をシェアしていたかどうかなんて知らないし、仮にそうだつたとしても、マルキユーがライバルメーカー消滅後も研究開発に手を抜いていなかったかどうかなんか、ふんぞり返っていたかどうかなんて（たぶん、そんなことはありえない）、まったく僕は知らない。ただ、イチ消費者としてはエサ業界に新規参入するメーカーがどんどん現れることは喜ばしいことだと思つし、失礼な言い方だが既存の小さなメーカーが元気になるのも素晴らしいことだ。

そして、そんなメーカーが一大ムーブメントを巻き起こすような事態があれば、おそらく突飛なアイデアであつたり、全く違う着眼点であつたりすると思うので、釣技発展に大きく寄与すると思う。メーカーが小さければ、買い占めやプレミア販売等、供給面での不安は消費者としては残るが、イチへらファンとして長い目で見れば大歓迎である。

粒、パワー、これらのミックス。共通するのは「やり過ぎは危険」ということだ。

セットの模式図にあてはめてみれば、バラケの拡散範囲の拡大に伴って、必然的に下ハリスが伸び、コントロールしきれなくなる恐れがある。バラケの拡散範囲をそのままにキ

「寄せ過ぎはよくない」とよく言われるが、寄せないと釣りにならないのもまた事実。そこからへんの線引きは釣り人個々の技量や好みで変わってくるので難しい。どの程度寄せたらパワー系なのかは、人それぞれなのだ。また、エサの大きさを線引きするのも無意味だ。寄せようと思って大きなバラケを付けても一向に厚く寄らないケースもあるし、小さなバラケでもグシャグシャに寄るケースだってあるのだから。

と、ここで模式図からは読み取りづらい、リアルな水中をイメージしてみる。模式図を引く張り出す際に、あくまでも「便宜上」といっても謳うのは、拡散範囲を円で表すことと、空間を立体的に描けていないことである。紙という平面に現すのだから、もともと無理があるのだが、実はもうひとつ、見落とされがちなのが、実はもうひとつ、見落とされがちなのが「時間軸」だ。

バラケの拡散範囲は投餌直後に全て形成されるものではない。高さも幅も、時間の経過によって変化し、かつバラケを構成するそれぞれの粒子の落下スピードも違うし、それらの粒子は抜ける前まではオモリに引く張られていて等速で…。わけ分かんなくなってきた(笑)。よく聞かれることに、

「江成さんは、毎投あそこまで考えてるんですか？」  
「ま、とにかく抜き気味のバラケというのは、

多段ロケットなバラケ方をしているという理解をしていただいたとして話を進めると、粒子の比重に極端な差がある時(例えば粒入り)は拡散範囲はバーチカル(垂直)に長く、差があまりないときは、円(球)に近づくと見える。同じリズムで同じ量の粒子を水中に撒いていても、水中は全く別世界になる可能性があるということになる。

実際はへらが起こす水流もあるし、最後には沈下してしまうので、もっと複雑な動きになるのは間違いないが、だからといって考えることを途中で放棄してしまつたら、エサ合わせの存在理由が全くなくなることになる。

球はボールだ。「バーチカルとボール」。これから流行らせよう…というのは冗談だが、バーチカルとボールでは下バリの置き場所も当然変わってくるし、逆にターゲットの位置(下バリの置き場所)から逆算すれば、バーチカルとボールどちらがいいのかも決まる。

粒の流行り始めは、「重くて粗い」ことが、「上ズリ防止」になり「へらを下へ誘導」する効果があるともはやされた。

「上ズリ防止」は、裏を返すと「下ズリ」になる。素直にイメージすると、重い粒を多用するバーチカルは下ズリやすいわけだから、長めの下ハリスになりそうなんだが、ダイワ勢の下ハリスはマルキュー陣営に比べて短いという事実があるらしい(注:風の噂です)。しかも、僕のように「短ハリスは型が小さい」こともなく、型モノが揃いやすいというデメリットも出ているようだ。誰だって無駄に下ハリスを伸ばしたくないんだから、「短い」のではなく「短く出来る」と言い換えた方がいい。つまり、逆三角形でよく語られる、ガサを完全に上層に置き去りにする、二極分化を行いやすいエサなのかもしれないということなのだ。

上層のへらを追わせる必要は全くない。下

ハリスの始点と終点の間にガサがいなければ、糸ズレ承知の遠巻き狙いも必要ない。理想通りにタナを構築出来れば、下ハリスは短くていいのである。

マルキューにも重い麩軽い麩、重いベレット顆粒と色々ある。では、エサにどういふ差があると二極分化で明暗を分けるのかは想像でしかないのであえて書かないが、実はこの項、ここまでほとんど平山氏からの受け売りであることを告白しておきたい(来月から愛称「ヒラリー」?)。

バラケから抜けた粒子は、重かろうが軽かろうが「自然落下」であり、引力と風流れ、そしてへらが作る水流とに身を任せ、人によって作られたアクションはまるでない。

しかし、へらも学習はする。もし粒が効かなくなる時代が到来するとしたら、へらはこんなことを感じるのかもしれない。全くの想像だが…

「遠巻きこそ危険」

そういう認識がへらの間で高まれば、再び接近戦全盛時代に戻ってくる。それでも粒を使い続けるメリットがあるとしたら、クワセとのサイズのシンクロしか残らないような気がするし、重いことが重要でないのであれば、適度に水分を吸った粗い麩で十分なのかな、という気がする。あ、これは全く昔といっしよだ。

パワーに粒を入れると、当然投餌直後に放出される粒もある。このときの粒がもし軽めだったらどういふ動きをするだろう。逆にメインの麩エサの方が重かったらどういふ動きになるだろう。

楽しみは尽きない…。

新作!!

慎重にテストを繰り返した底釣り専用タイプ。杉山作初の美しいブラックボディで登場!

【底釣りスタイル】



繊細な「底」を完全表現する専用タイプ。

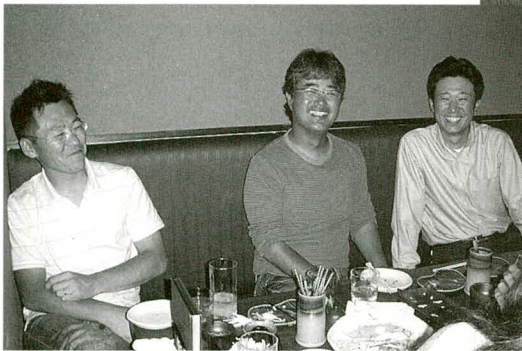
- ボディは羽根2枚合わせ5.5mm径。精悍な極薄ブラック塗装仕上げを採用
- ダイシン製ホワイトトップ(内径1mmパイプ)採用。軽量かつ視認性大幅UP!
- サイズ:一番(T110cm B9cm カーボン足4.3cm)~六番(T17.5cm B16.5cm カーボン足4.7cm)ワンサイズごとにバランスを突き詰めた設計で、スムーズなナジミと理想的な返しを実現!
- 定価1本7,350円(税込)

取り扱い店(五十音順)

- 埼玉・越谷 かわせみ(☎048-969-5067) 茨城・下妻 こやの釣具(☎0296-44-1619) 東京・渋谷 サンスイ川釣り館(☎03-3499-5025)  
埼玉・入間 へらの三水(☎042-964-2093) 栃木・益子 フィッシングハウスほその(☎0285-72-2215) 神奈川・川崎 謝仙人(☎044-287-7470)  
東京・吉祥寺 丸勝(☎0422-22-8923) 東京・青梅 吉川釣具店(☎0428-22-2467)

杉山作

岡田清さんのお店「とりまる」にて。秋野孝之&天笠充の貴重なツーショット！釣りに「釣る」ことだけじゃなく、人と人の素敵な出会いを演出してくれる魔力があるんだなあ。そして、その横で泥酔する江成アニキでした。(でもなんだかみんな楽しそう！)



5月18日の晩、岡田君がそのベレットくさい(?)手で焼く「とりまる」でちょっとした集まりがあった。特別テーマも何も設けていなかったが、メンバーは「全員」ナリーズだったので、ナリーズ懇親会だったということも出来る。

実は以前から、平山氏に「天笠さんがね、飲むと豹変するのよ〜! すごい面白いから是非江成君にも見せたいと思ってさ〜」と言われていた。

天笠氏とは、食事は何度かしているが、お互い帰りは運転があるために、アルコールはNGであった。それでも天笠氏の人柄は何となく感じることが出来ているつもりでいたので、全く想像がつかないこともなかった。一流企業のエリートで、釣りも凄いい「イヤな野郎」:「じゃなかった「クールなナイスガイ」は、マスメディアによって作り上げられたイメージであり、本当は「お茶目なヒト」なのではないか、と。

当日は、いよいよ氏の本性をこの目で確かめることが出来ると楽しみにしていたが、天笠氏はいくら飲んでも豹変しなかった(というか、二時間前から一番乗りして一人で飲んでいて僕が先にダウンした)。

天笠氏が酔えなかった理由。それは隣に座った秋ちゃんだ。

天笠氏は、秋ちゃんの大ファン。ツーショットを撮るために自宅からわざわざデジカメを持参してきたほどだ。今やスーパースターの仲間入りを果たし、せっかくメディアでのイメージも出来上がっている氏のこういう一面を暴露するのはどうかと思うが、「釣りは完全に趣味」と割り切っている天笠氏のこと、



**営業時間**

(10月~3月) 平日 午前7時~午後4時 日・祝日 午前6時30分~午後4時  
(4月~9月) 平日 午前6時30分~午後4時30分 日・祝日 午前6時~午後4時30分

**定休日**

毎週火曜日(祭日の場合 翌日休業) ※第4火曜日と水曜日は連休

**料金**

1日/2,500円 半日/2,000円

**規定**

自由釣り池(2面)は、タナはウキ止めからオモリまで1m以上

**使用竿** 竿8~15尺

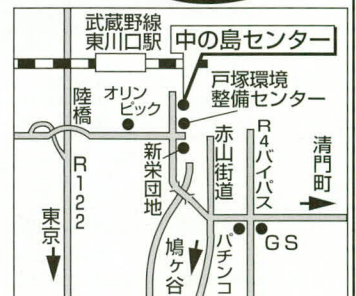
**水深** 3.5m

※ジャンボ室内鯉釣り、金魚釣りも楽しめます。

赤いリボン賞  
2,500円

有限会社 中の島センター

埼玉県川口市藤兵衛新田254 ☎048-295-5194 (夜間296-7654)



# 釣番付

料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

書体見本

1. ぐりへの釣会
2. ぐりへの釣会
3. ぐりへら釣会

- ・番付をインターネットで公開できます(無料)

お問い合わせご注文はお早めに!

取扱店: 柴舟 03-3613-2727

## ウキや小物の銘入れに 転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～  
2回目以降同じものをご注文の場合  
は3,500円～

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

取扱店:

- 柴舟(東京都江戸川区)  
03-3613-2727  
佐伯釣具店(神奈川県川崎市)  
044-911-3722  
SANSUI川づり館(東京都渋谷区)  
03-3499-5025  
フィッシング中原(神奈川県川崎市)  
044-711-8266  
鮒仙人(神奈川県川崎市)  
044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店  
または下記HPまでどうぞ

office27  
あとりえぐり

http://www.office27.com  
E-mail: info@office27.com

読者の氏に対するイメージなんて気にしてはいないだろう。さらに、カウンターの向こうには、もう一人の憧れ、岡田清の目も光る。そりゃ酔えないわな。

秋ちゃんも飲むのは6年ぶり。会うのは数年ぶり(直近バリバスはノーカウント)だが、スーパースターのお出ましに、A氏のサインは敬遠だ(「キー……」)……

付き合いが古いで全く遠慮のない僕。天笠氏はハラハラしていたかもしれない。

すでにウキ作家としてプロデビューは果たしていたが、まだ無名時代の秋ちゃんとお出会ってからずいぶん長い時間が流れた。そして今や押しも押されぬ人気作家となった秋ちゃん。秋ちゃんの後を追いついて、「自分もウキで」なんて考えた時期もあるだけに、他人ながらそれなりに感慨深い。

「一つの道を志す」  
口で言うのは簡単だが、なかなか出来ることではない。

知っている人も多いと思うが、岡田君の店の暖簾には、「屋号」「こりまる」の横に、「一志」の銘がある。

もちろんこれは秋ちゃんのウキ名からとったもので、店をオープンする際、「一志」の意

味に感動した岡田君が、秋ちゃんの許可を得て付けたもの。「本多作」パイロットの岡田君がなぜに「一志」?と思っていた人もいるかもしれないけれど、

「ウキは使わないけど、友情はあるぜ」  
……ってことです。僕だけでなく、この二人も無名時代から長いんです。

理不尽なことをされたり、自らがトラブルを招いたり、それはそれはいろいろありますが、僕の知らない時間の中で秋ちゃんにも当然あったんだろうとは思っけども、

「いやあ、オレもいろいろ勉強したよ……」  
というセリフに全てが集約されている気がしたし、

「……そんなことよりアニキ、飲んでるのかよオ?」

と、僕の背中を引つ叩いてきた時の秋ちゃんの晴れ晴れした顔が、すごいカッコ良くて、

「ヤバッ、グッと来た」

って感じでした(もちろん自分が異性だったらって話であり、さんざん酔っぱらっていた僕の胃の内容物のことではありませぬ)。

がんばれ秋ちゃん!

## 「クラブ」対抗「フレンドシップ」。

マルキューのクラブ対抗に申し込んだ。「定期的に活動しているクラブ」である「ナリーズ」には、参加資格がある。しかし、全国大会決勝が野釣りっていうのはちょっとビビった。予選会場にも野釣りがある。まあ野釣りといっても三名湖は凶暴なまでに魚影が濃

いし、純野釣りとは言えない釣り場だし、管理でやったとしても場所ムラはあるし……。ただ、ここで僕が考えてしまうのは、「それじゃあ、今まで椎の木湖で繰り広げられてきた激戦は、何だったの?」ということである。暴言承知で書いてしまおうが、あのフォーラム侠が血と汗と涙で積み上げてきたものが、あっさり吹き飛ばされてしまったようなこの寂しい感覚は、いったいどうしたらいいのだろう。そして、「いつかは椎の木湖へ! 打倒フォーラム侠!」を合言葉に切磋琢磨を続けてきた全国のクラブの想いは……。たぶん、そんなに軽いものじゃない、と思うのだが……。

「いやいや、出てから文句言う系なんです。ていうか個人的には好きな釣り場だし♡」  
と、答える予定。その前に、  
「オマエらに決勝の心配は無用だヴォケッ!」  
という声の方が圧倒的に多いのかな。  
ナリーズが今年もつとも力を入れているのは、昨年に参加してスゲー面白かった椎の木湖主催の「フレンドシップ選手権」。今年は3チーム参加はすでに決まっております、あの「研究員」やアノ「名誉会員」も参加が決定している。なお、酒の席での発言だが、「一志フレンドシップバージョン」が参加のナリーズ会員全員に配られる予定。製作者・スポンサーともに、後で「そんなこと言っていないよお」と言わせないうよう、ここに明記する(笑)。また、ナリーズ会員に限って有り得ないとは思いますが、フレミア必至の限定品だけに、転売防止の個人ネーム入りとする(これはたまた今江成の思いつき・秋ちゃん未承諾)。  
「身内話で盛り上がりつつじゃねーよ!」  
ごもつとも。椎の木湖でお会いしましょう。まだ募集してるんじゃないかな?  
合言葉は、「打倒ナリーズ」で。  
「ハイよこんで。受けて立ちますヨ(Bチームが)!!」

へら鮒釣りの楽しさを追究し続ける...

No.499  
July.2007

7

Monthly fishing magazine herabuna



夏が来た！  
湖に急げ！



## 渋ったときの、くわせの切り札。

「段差バラケ」は、ぱらぱらとバラけて、ハリに芯残りし、集魚効果も抜群のバラケエサ。「一発」は、良質の麩を丸く切った、軽く、吸い込みのよいくわせエサ。両者をセットで使う、段差の一発の釣りは、食い渋りや、魚のスレた釣場の攻略に有効です。



●一発 (小・極小・マイクロ)



●段差バラケ

# 野釣りに、2つの突破口。



王道

## 真っ向勝負での、攻めの王道。

やわらかいタッチでもタナまでしっかり持つ、チョーチン釣り用ダンゴのベースエサ。なじみ際の早いアタリを積極的に攻めていくことが可能。ダンゴエサの走りから晩秋まで長期間使用できます。管理釣り場はもちろん、野釣り、準山山湖攻略にも有効です。

●天々

定価 1000円 本体九五円

## 野釣りを制して、クラブ日本一へ。

第16回マルキュークラブ対抗へら鮎釣り選手権大会では、従来の管理釣り場だけでなく、野釣り場での競技も行います。野釣りを愛するクラブの皆様、ふるってご参加ください。

千代田湖 (山梨県)  
6月9日(土)

鮎川湖 (群馬県)  
6月16日(土)

豊英湖 (千葉県)  
9月15日(土)

三島湖 (千葉県)  
9月15日(土)

※詳細はチラシまたはマルキューホームページをご覧ください。

**丸マルキュー株式会社**  
〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀2-4

お問い合わせ 本社・桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909  
合わせ 四国営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909  
ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

釣り場でエサに困ったら  
iモード・ホームページ  
<http://www.marukyu.com/i>

マルキューホームページ内の「へら鮎天国」では、新鮮な釣果情報を掲載中。あなたのお気に入りの釣り場の情報が、見つかるかも。  
<http://www.marukyu.com/> マルキューへら鮎メールマガジンも、お申込はこちらから。

釣れるヒント満載!!  
**へら鮎天国**

